

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学術)	氏名 Author	MD AZAD UDDIN
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation Reducing Informality in the Economy for the Sustainable Development: Causal Inferences from Household Level Observational Data			
論文審査担当者 Dissertation Committee Members			
主 査 Committee Chair	市橋 勝 教授	印 Seal	
審査委員 Committee Member	金子慎治 教授		
審査委員 Committee Member	後藤大策 准教授		
審査委員 Committee Member	柿中 真 教授 (立命館大学経済学部)		
審査委員 Committee Member	川田恵介 准教授 (東京大学社会科学研究所)		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>アジアの発展途上国のうち最貧国に位置付けられているバングラデシュにおいてどのように貧困から脱却できるのか、そのための方策として国際資金移動用の金融網の整備効果、児童労働削減のための補助金効果、健康維持のための食事援助の効果などを実証的に検討したのが本論文の主要内容となっている。</p> <p>博士論文は5章から構成されており、</p> <p>第一章：研究動機と意義 (バングラデシュ経済のインフォーマルセクター依存をどのように克服するのか)</p> <p>第二章：銀行ネットワークが移住者の非正規送金チャネル選択に与える影響</p> <p>第三章：無条件現物支給が児童労働に与える影響</p> <p>第四章：フィード・ザ・フューチャー・プログラムの食品消費、健康、栄養への影響</p> <p>第五章：全体のまとめ</p> <p>となっている。</p> <p>使用データは二章が 2016 年の Survey on Investment from Remittances、三章では 2019 年の Bangladesh Multiple Indicator Cluster Surveys、そして四章では 2011、15、18 年の Bangladesh Integrated Household Surveys であり、分析方法は操作変数法 (二章)、回帰不連続デザイン法 (三章)、傾向スコアマッチングと差の差分析法 (四章) といずれも手堅い実証方法となっている。</p> <p>本論文のうち、第二章は既に以下の学術論文 (査読付 SSCI,IF=2.21) として採択されている。Md. Azad Uddin, Masaru Ichihashi and Shubhasish Barua, "Financial Sector Development and the Preference for Informal Remittance Channels: Evidence from Bangladesh", <i>Journal of Development Studies</i> (Q2), Vol. 58, No. 1, 1-27, 2022.</p> <p>また、第三、四章分も現在査読付き国際誌に投稿中である。</p> <p>以上、審査の結果、本審査委員会委員は、本論文が著者に博士 (学術) の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			